

ワークショップについて

1 ワークショップ開催の目的

中間点検において、ごみの減量に係る市民の率直な意見やアイデアを入手するため

2 ワークショップの開催日時・場所・規模

日時：9月〇日（土） 13：30～16：30

場所：〇〇広場

規模：40～50人程度

3 ワークショップの進め方

札幌市におけるごみの減量状況を説明後、各テーマについてファシリテーターを含めた5～8人でグループワークを行い、各グループの意見を取りまとめて発表し、全体で共有する。

4 グループワークのテーマ

懇話会第1回目で示した減量が可能と考えられるごみをテーマとする。

(1) 生ごみ・食品ロスの減量について

生ごみに含まれる「調理くず」と「食品ロス」について、減量できる余地はどれくらいあるのか、食品ロスが発生する理由は何か、減量に有効な取組はどんなものか、など市民の考えを聞く。

(2) 紙ごみ・プラスチックごみの減量について

紙ごみ・プラスチックごみを減量するためには何が必要か市民の考えを聞く。

また、資源ごみではなく燃やせるごみに誤って排出される紙ごみ・容器包装プラスチックごみについて、その原因や市民への有効な働きかけなどについて市民の考えを聞く。

さらに、新たに施行されたプラスチック資源循環促進法について、プラスチックの一括回収など市民の考えを聞く。

5 ワークショップで示された市民意見について

(1) 中間報告書への掲載

中間報告書にワークショップの結果として掲載する。

(2) 施策への反映

施策に反映できる意見は、それに係る経費など実現性を含めて検討していく。